

設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、
「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

②代価表(歩掛表に諸雑费率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の
諸雑费率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

(050113-0)

本 工 事 費 総 括 表								
工種：開削工事及び小口径推進工事等								
費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費								
	共通仮設費率計算額			式	1			
	共通仮設費 積上額計			式	1			
		技術管理費		式	1			
			水道検査費	式	1			第7号明細表, A40001//1
純工事費								
	現場管理費			式	1			
		現場管理費率計算額		式	1			
工事原価								
	一般管理費等			式	1			
		一般管理費率計算額		式	1			

(050113-0)

本 工 事 費 総 括 表								
工種：開削工事及び小口径推進工事等								
費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格								
	消費税相当額			式	1			
本工事費								

「週休2日適用工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和7年6月以降

間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前)

算定式 $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = (共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前)

算定式 $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = (現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあたっては、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

- ◎留意事項
- 設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・機械経費（賃料）・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。
- なお、労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者（下水道）とすることから、見積と記載のある労務単価（ステンレス溶接工等）及びガスX線検査工の一部単価（X線検査 技術員・補助）並びに水道X線検査工の一部労務費（技師A及び技師B）は補正対象外となる。
- また、予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日適用工事（現場閉所）」（令和7年6月）実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

間 接 工 事 明 細 書 (当初)

令和7年度(春) 基準適用
 週休2日補正有 R 7年度[春] 単価適用
 週休2日(通期) 適用地区: 上越②

費 目		計 算 根 拠 式											
共通仮設費 (率計算額)	率計算額	$= \text{対象額} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正}) \times \text{係数}$ $= \text{ } \times (\text{ } \% \times \text{ }) \times \text{ } \quad \text{週休2日補正係数} \quad \bigcirc$	<table><tr><th>施工地域・工事場所区分</th><th>補 正 係 数</th></tr><tr><td>一般交通影響あり①</td><td></td></tr><tr><td>一般交通影響あり②</td><td>○</td></tr><tr><td>市街地</td><td></td></tr><tr><td>山間僻地及び離島</td><td></td></tr></table>	施工地域・工事場所区分	補 正 係 数	一般交通影響あり①		一般交通影響あり②	○	市街地		山間僻地及び離島	
	施工地域・工事場所区分	補 正 係 数											
一般交通影響あり①													
一般交通影響あり②	○												
市街地													
山間僻地及び離島													
	対象額	$= \text{直接工事費} - (\text{管材費} \div 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) \div 2)$ $+ \text{無償貸付機械等評価額} + \text{事業損失防止施設費} + \text{処分費} (\text{準備費}) - \text{処分費控除額}$ $+ \text{加算額} - \text{減算額}$ $= \text{ } - (\text{ } \div 2) + \text{ } - (\text{ } \div 2)$ $+ \text{ } + \text{ } + \text{ } - \text{ } + \text{ } - \text{ }$ $\text{処分費控除額} =$ $\text{処分費等} (\text{直工} + \text{準備}) \div \text{対象額} = \text{構成比} < > 3\%$ $\div \text{ } = \text{ } \% < > 3\%$											
現場環境改善費 (率計算額)	率計算額	$= \text{対象額} \times (\text{標準率} + \text{補正率}) \times \text{係数}$ $= \text{ } \times (\text{ } \% + \text{ } \%) \times \text{ } \quad \text{現場環境改善費補正率} \quad \%$											
	対象額	$= \text{直接工事費} - (\text{管材費} \div 2) - \text{処分費等} (\text{直工}) + \text{支給品費}$ $- (\text{管材費} (\text{支給品費}) \div 2) + \text{無償貸付機械等評価} + \text{加算額} - \text{減算額}$ $= \text{ } - (\text{ } \div 2) - \text{ } \div 2) - \text{ } + \text{ } + \text{ } - \text{ }$ $- (\text{ } \div 2) + \text{ } + \text{ } - \text{ }$											
現場管理費 (率計算額)	率計算額	$= \text{対象純工事費} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正} + \text{冬期補正率}) \times \text{係数}$ $= \text{ } \times (\text{ } \% \times \text{ } + \text{ } \%) \times \text{ } \quad \text{週休2日補正係数} \quad \bigcirc$	<table><tr><th>施工地域・工事箇所区分</th><th>補 正 係 数</th></tr><tr><td>一般交通影響あり①</td><td></td></tr><tr><td>一般交通影響あり②</td><td>○</td></tr><tr><td>市街地</td><td></td></tr><tr><td>山間僻地及び離島</td><td></td></tr></table>	施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数	一般交通影響あり①		一般交通影響あり②	○	市街地		山間僻地及び離島	
	施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数											
一般交通影響あり①													
一般交通影響あり②	○												
市街地													
山間僻地及び離島													
	対象純工事費	$= \text{純工事費} - (\text{管材費} \div 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) \div 2)$ $+ \text{無償貸付機械等評価額} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額}$ $= \text{ } - (\text{ } \div 2) + \text{ } - (\text{ } \div 2) + \text{ } -$											

(050113-0)

直接工事費内訳書

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本設水道PE(A) φ30								Y10001//1
	材料費		【本設】PE(A) φ30 L=30.9m	式	1			第1号明細表, AZ0002//1
	布設費		【本設】PE(A) φ30 L=30.9m	式	1			第2号明細表, AZ0004//1
	土木費		【本設】PE(A) φ30 L=30.9m	式	1			第3号明細表, AZ0003//1
舗装本復旧								Y10101//1
	土木費		打換工	式	1			第4号明細表, AZ0103//1
直接仮設費				式				Y20001//1
	水道直接仮設費			式	1			第5号明細表, AZ201//1
	水道交通誘導員			式	1			第6号明細表, AZ301//1
直接工事費計								

(050113-0)

第1号明細表の1

AZ0002-0000-01

材料費

1式当り明細表

種別：

【本設】 PE (A) φ 30 L=30. 9m

形状：

備考：

名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
水道用PE管		30 (1-2層)		m	30. 8						L010030 刊行物	
WPE金属継手ソケット		φ 30		個	2						L110030 刊行物	
WPE金属継手:PE*鋼管 (オシ)		φ 30		個	1						L1D0030 刊行物	
水道用PE管		30 (1-2層)		m	2. 6						L010030 刊行物	
WPE金属継手:PE*鋼管 (オシ)		φ 30		個	2						L1D0030 刊行物	
WPE金属継手エルボ:90°		φ 30		個	2						L160030 刊行物	
青銅仕切弁 (メシタイプ)		φ 30		個	1						F0M0030 見積	
白エルボ 90°		32A		個	2						GB70032 刊行物	
白プラグ		32A		個	1						GBE0032 刊行物	
ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)		32A		m.	0. 5						G031030 刊行物	
共通円型ボックスセット (水道) 除雪対応型		LJTVJ5TD-81H17K同等品		組	1						H010005 見積	
FRP筒		(単)筒 B-800		本	1						H050005 見積	

(050113-0)

第1号明細表の2
AZ0002-0000-01

材料費 1式当り明細表

種別：【本設】PE(A) φ 30 L=30.9m
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(050113-0)

第2号明細表の1 AZ0004-0000-01							種別：【本設】PE(A) φ 30 L=30.9m 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ホ°リエチレン管据付工		φ 30mm	m	30.8			第1号表, SS0350//1 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管切断工		φ 30	口	3			第2号表, SS0457//1 水道事業実務必携	
機械継手工		φ 30mm	箇所	5			第3号表, SX0603//1 独自代価	
小口径鋼管継手工		ねじ込み接合 φ 32mm	口	1			第4号表, SS0220//3 水道事業実務必携	
ロケティングワイヤー(ホ°リエチレン管)			m	30.9			第5号表, SS1230//1 水道事業実務必携	
埋設表示シート布設 (水道管)		(リサイクル品)	m	30.9			第6号表, SX0619//1 複合代価(水道事業実務必携)	
管明示テープ工(水道・ホ°リエチレン管用)		φ 50×5m以下 胴巻4箇所 天端明示無し	m	30.9			第7号表, SY1220//1 複合代価(水道事業実務必携)	
ホ°リエチレン管据付工		φ 30mm	m	2.6			第1号表, SS0350//1 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管切断工		φ 30	口	3			第2号表, SS0457//1 水道事業実務必携	
機械継手工		φ 30mm	箇所	6			第3号表, SX0603//1 独自代価	
小口径鋼管据付工		φ 32mm	m	0.5			第8号表, SS0210//1 水道事業実務必携	
小口径鋼管継手工		管切断 φ 32mm	口	1			第9号表, SS0220//1 水道事業実務必携	

(050113-0)

第2号明細表の2 AZ0004-0000-01		布設費 1式当り明細表				種別： 【本設】 PE(A) φ 30 L=30.9m 形状： 備考：	
名	称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小口径鋼管継手工		ねじ切り φ 32mm	口	2			第10号表, SS0220//2 水道事業実務必携
小口径鋼管継手工		ねじ込み接合 φ 32mm	口	5			第4号表, SS0220//3 水道事業実務必携
共通円形BOX設置工(衫`式)			基	1			第11号表, SX0615//1 独自代価
バルブ設置工(人力)		φ 32mm	基	1			第12号表, SX0605//1 独自代価
ポリエチレン管撤去工		φ 30mm	m	0.3			第13号表, SS0351//1 水道事業実務必携
PE管処理費		処分先B	t	0.01			第14号表, SX0207//1 独自代価
合 計			式	1			
単 位 当 り				1			

(050113-0)

<div> <div>第3号明細表の1 AZ0003-0000-01</div> <div>土木費 1式当り明細表</div> <div>種別：【本設】PE(A) φ 30 L=30. 9m 形状： 備考：</div> </div>						
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版	舗装厚：15cm以下	m	66			第15号表, SP1D210//1 県積算基準
バックホウ掘削積込	BH クローラ型 山積0. 28m3排ガス2次	m3	19			第16号表, SS1000//1 水道事業実務必携
舗装版取り壊し積込工	0cm超え10cm以下 BH クローラ山積0. 28m3排ガス2次	m2	22			第17号表, SS1040//1 水道事業実務必携
路床工(洗砂)	山積0. 28m3 1層max仕上厚20cm	m3	7			第18号表, SX1300//1 複合代価(水道事業実務必携)
路床工(改良土40(改良土E))	山積0. 28m3 D I D区域外 0. 5km 4t積 1層max仕上厚20cm	m3	7			第19号表, SX1300//2 複合代価(水道事業実務必携)
産廃運搬処理 アスファルト殻運搬工	バックホウ 山積0. 28m3 4t積 L=4. 5km D I D区域外 廃材プラント (K)	m3	1			第20号表, SXG0020//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理	バックホウ 山積0. 28m3 4t積 L=3km 改良分 D I D区域外	m3	7			第21号表, SXG0030//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理	バックホウ 山積0. 28m3 4t積 L=3km 発生土処分先(E) D I D区域外	m3	12			第22号表, SXG0030//2 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
上層路盤工	仕上り厚 12cm 1層(幅1. 8m未満) 粒調碎石 M-40	m2	22			第23号表, SY1050//1 水道事業実務必携
下層路盤工	仕上り厚 12cm 1層(幅1. 8m未満) ARC 40 (RC混合)	m2	22			第24号表, SY1050//2 水道事業実務必携
表層工(人力施工)	粗粒度7スロ (20) 瀝青材散布なし 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	22			第25号表, SY1070//1 水道事業実務必携
合 計		式	1			

(050113-0)

第3号明細表の2
AZ0003-0000-01

土木費 1式当り明細表

種別：【本設】PE(A) φ 30 L=30.9m
形状：
備考：

名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
単	位	当	り		1							

(050113-0)

第4号明細表 AZ0103-0000-01							種別： 打換工 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
表層(車道・路肩部) プライムコート PK-3		1. 4m以上3. 0m以下 50mm 密粒度アスコン(新20FH) 小型車補正有り	m2	98			第26号表, SPZB130//1 県積算基準	
舗装版取り壊し積込工		0cm超え10cm以下 BH クローラ山積0. 28m3排ガス2次	m2	98			第17号表, SS1040//1 水道事業実務必携	
産廃運搬処理 アスファルト殻運搬工		バックホウ 山積0. 28m3 4t積 L=4. 5km D I D区域外 廃材プラント (K)	m3	5			第20号表, SXG0020//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
不陸整正工		仕上り厚1cm(幅1. 8m以上) 粒調碎石 M-40	m2	98			第27号表, SY1060//1 水道事業実務必携	
舗装版切断 アスファルト舗装版		舗装厚:15cm以下	m	37			第15号表, SP1D210//1 県積算基準	
区画線ペイント式設置工(塗料白色)		溶剤型 実線 15cm 加熱式ペイント 通期 未供用無 制約無 夜間無 豪雪有	m	32			第28号表, SYS0041//1 県積算基準	
合 計			式	1				
単 位 当 り				1				

(050113-0)

第5号明細表 AZ201-0000-01		水道直接仮設費 1式当り明細表					種別： 形状： 備考：					
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
水替工		50m/m 水中ポンプ		日	1						第29号表, SX0900//1 県積算基準	
ポンプ据付撤去		50m/m		箇所	1						第30号表, SX0901//1 県積算基準	
合 計				式	1							
単 位 当 り					1							

(050113-0)

第6号明細表
AZ301-0000-01

水道交通誘導員 1式当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B	実働9時間(交替要員有り)	人	8			R4400/2 県単価(RR0804)
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(050113-0)

第7号明細表 A40001-0000-01		水道検査費 1式当り明細表					種別： 形状： 備考：	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
通水試験工(1日未満)		既設管と連絡して給水車が不要 φ150以下		m	30.9			第45号表, SS0705//1 水道事業実務必携
合 計				式	1			
単 位 当 り					1			